

# 200ccが あなたを守ります

…愛の血液助け合い運動実施中…

愛の血液助けあい運動が9月31日まで行なわれています。

県下では交通事故で毎日17人が死亡し81人がケガをしています。こうした事故などの治療になくはならないのが血液です。ケガをしてから血液を集めるようでは、助かる命も失なつてしまうことがあります。

万一に備え、ひとりでも多くの人が献血をしておきたいものです。

ちなみに、県下で1年間に使用される血液は66,000本(1本200CC)です。これは、県民みなさんのうち16歳から64歳までの健康な人が、10年に1回献血すればまかなえる量です。

200CCの血液があなたの家庭を守ります。一世帯でひとり献血をするようにつとめましょう。

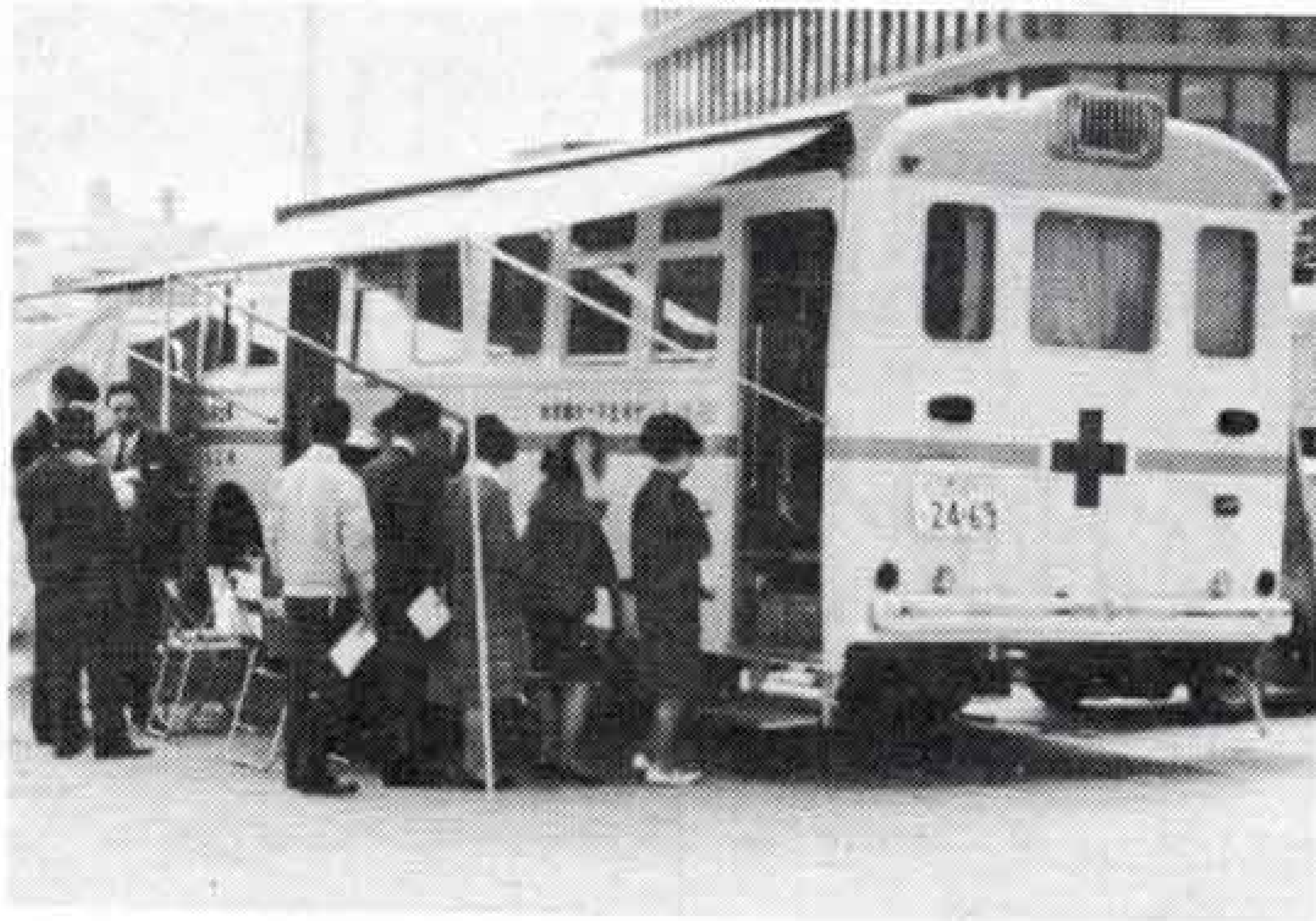
なお、県赤十字血液センターは次の日程で採血にきますので、ひとりでも多くの人がおでかけください。

■実施日

9月10日

■場所と時間

吉原事務所 午前9時から12時まで  
富士事務所 午後1時から4時まで



9月15日は「敬老の日」

## おとしよりを大切に 地区毎に敬老の催し

9月15日は国民の祝日「敬老の日」です。市は、この日を中心に社会福祉協議会、連合婦人会とともに、70歳以上(明治31年9月15日以前に生れた人)の人を招待して敬老会を行ない、記念品を贈ります。老人の幸せについて関心と理解を高めるとともに、長年社会につくしてきたおとしよりの長寿を、みなさんとともに祝いたいものです。

70歳以上のおとしよりは5,149人(男2,089人、女3,060人)で、このうち80歳以上の人1,150人、90歳以上の人82人います。最年長は鈴川1丁目の中島兵吉さんの98歳です。これからも健康に注意し、ますます長生きをしていただきたいと思います。

また、米寿を迎える42人のおとしよりは、馬堀喜孝画伯(全日本肖像美術協会総裁)の肖像画と木盃が贈られます。



### 聖観音

蓼原の真言宗源立寺の本尊は聖(しょう)観音像です。源立寺といえば、北条氏政の首塚があるお寺として有名ですが、この観音像のことはあまり知られておりません。

この像は、北条の臣で小棹城主佐野新左衛門尉が、天正18年、小田原落城の後京都五条河原にさらされていた氏政の首をひそかに持ち帰り、この地に埋め、その時氏政の父、氏康の念持仏観世音菩薩を持つてきたものだと、いい伝えられています。

像の高さは約20センチくらいで、作者や年代はくわしくわかりませんが、藤原期のものではないかと伝えられています

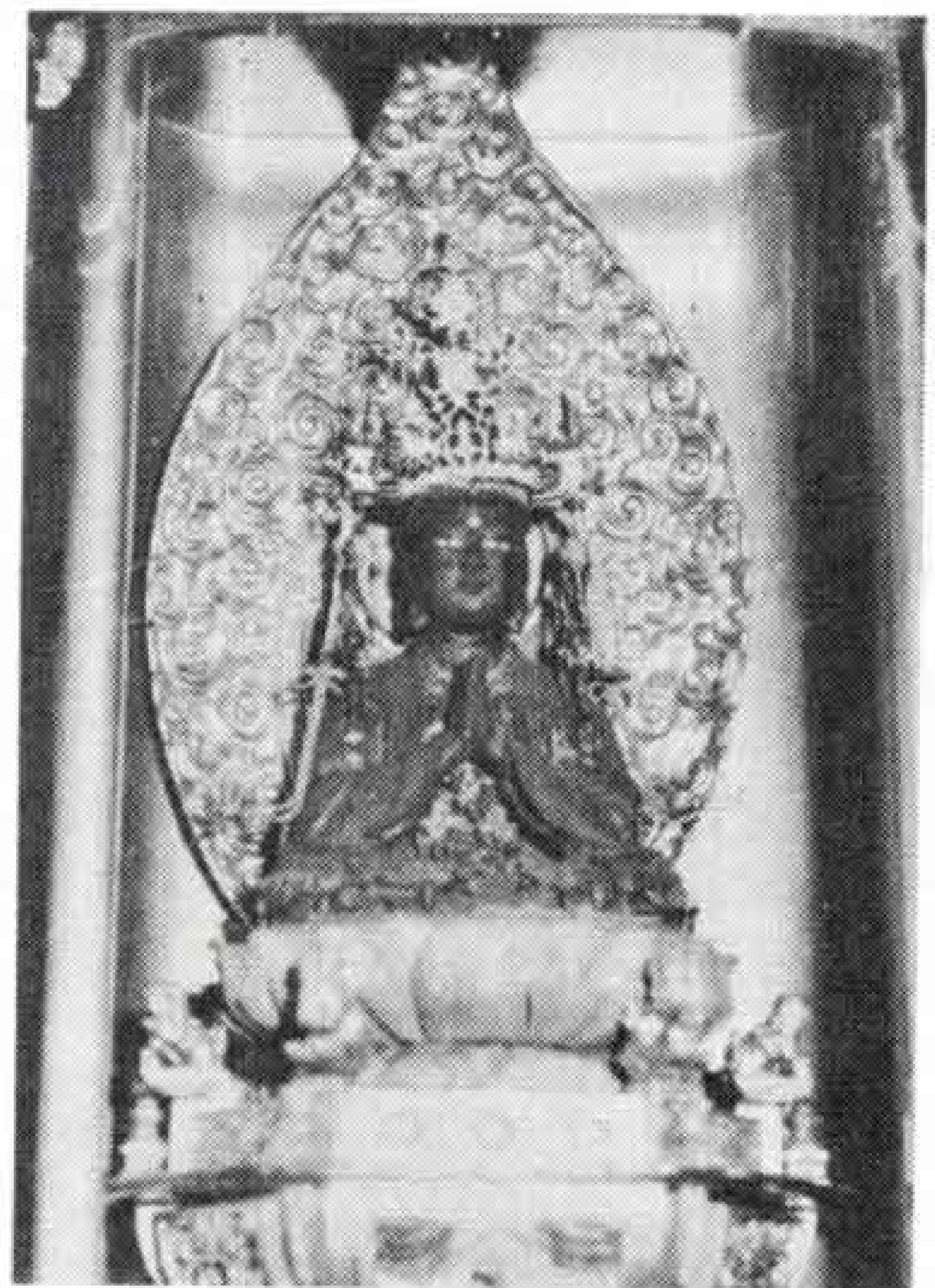
実に立派な神々しい仏像で、れんげの上にすわり、両手は合掌印を結んでいます。身は紫金色で、上に肉髪(につけい)があり、頂に円光があつて、その中に500の化仏があるとされています。頂上に毘りよう伽摩尼宝という天冠があつてその中に一つの化仏があり、眉間の白毫(びやくごう)には宝石をはめてあります。

聖観音というのは、千手とか十一面、如意輪などの諸観音と区別するための名称で、もつとも普通な代表的観音という意味です。

一般に観音という場合には、聖観音をさすもので、正しくは聖観自在菩薩と呼ばれています。一切の衆生をその苦悩から救う観音として広く信仰され、あらゆる

経典に説かれています。

(鈴木富男稿)



蓼原の源立寺に安置されている聖観音

### 税関だより

清水税関支署田子の浦港出張所の7月の取り扱い額は、輸入が9億2121万円、輸出が5162万円でした。輸入品はチップ、トウモロコシ、木材でした。輸出品はサンダルと紙製品でした。

入港船は日本船が9隻、外国船が4隻でした。

### 9月の納め

固定資産税 3期 国民健康  
都市計画税 3期 保険税 6期

月末は窓口がこみあいますから、なるべく早めに納めるようにしてください。